スペイン第二共和政期（1931-1936）における本の日とサン・ジョルディの日の「接続」の分析：新聞記事テキストマイニングを手法として

菊池　信彦（関西大学アジア・オープン・リサーチセンター）

本研究では，スペインで毎年 4 月 23 日に開催されている本の日とサン・ジョルディの日という 2 つの祭を研究対象としている．報告では，この 2 つの祭りの「接続」時期を検証すべく，先行研究上その「接続」時期とみなされてきた第二共和政期（1931-1936）の新聞記事を史料に，テキストマイニングソフトウェア KH Coder で分析を行った．この結果，両祭りが「接続」したとは認められなかったが，その後の「接続」に向けた傾向は確認することができた．

Analysis of “Connection” of the Book Day and Sant Jordi’s Day in the Second Republic of Spain (1931-1936): Using Text Mining of Newspaper Articles

Nobuhiko Kikuchi (Open Research Center for Asian Studies, Kansai University)

This study focuses on two festivals in Spain; Book Day and Sant Jordi's Day, held every year on April 23rd. To examine when the festivals were “connected”, this study analyses newspaper articles in the Second Republic of Spain (1931-1936) with the text mining software “KH Coder”. As a result, it was not confirmed of the “connection” between the two festivals in this era, but the tendency was recognized.

１．はじめに

スペインの首都マドリードを擁するカスティーリャ地方と，バルセロナを州都とするカタルーニャ地方は，その複雑な歴史的経緯から，従来から対立図式で描かれてきた．例えば，2017 年のカタルーニャ自治政府によるスペインからの独立を問う住民投票の強行とその後の独立宣言の発布は記憶に新しい．2019 年 10 月には，スペイン最高裁は，独立宣言を発した当時のカタルーニャ自治政府副首相らに対して 10 年以上にも及ぶ禁固刑を言い渡し，それを受けてバルセロナでは大規模なデモが行われた[1]．スペイン政府（カスティーリャ地方）とカタルーニャ地方は，歴史的にも，そして現在進行形でも，深く対立している．

しかしその一方で，二つの地方では，同じ 4 月 23 日に同じような祭りを催しており，そこではカスティーリャ地方では国家ナショナリズムを，カタルーニャ地方では地域ナショナリズムを標榜している．それが本研究で対象とする 2 つの祭日――本の日とサン・ジョルディの日――である（図１）．

スペインにおける本の日は，1926 年の成立当初は，「スペイン語の本の日」（Día del Libro Español. ここで言うスペイン語とはカスティーリャ語を指す）という名称で，セルバンテスの誕生日とされた 10 月 7 日に設定されていた．そして，『ドン・キホーテ』に代表されるスペイン文学の世界発信を意図した文化ナショナリズム運動を体現するものであった[2]．その後，この祭りは，スペイン第二共和政が始まる 1931 年からは，セルバンテスの死去日にあたる 4 月 23 日に移され，祝われるようになった．

図 1：バルセロナのランブラス通りでの本の日とサン・ジョルディの日の様子（2019 年 4 月 23 日著者撮影）

一方，カタルーニャのサン・ジョルディの日は，1931 年以前から 4 月 23 日に祝われてきた．サン・ジョルディとは，悪竜から王女を救ったとされる伝説上の騎士で，15 世紀半ばにカタルーニャの守護聖人とされた（図２）．カタルーニャでは，16 世紀から，サン・ジョルディの殉教日である 4 月 23 日に，その伝説にちなみバラを贈り合うようになった．そしてサン・ジョルディの日が本の日と同日となった 1931 年以降は，愛する者同士

 ©2019 Information Processing Society of Japan

がバラと本を贈り合う日となっていった．この日は，カタルーニャの文化ナショナリズムが表明される日として知られている．

図 2：カタルーニャ自治政府庁舎の正面に掲げ

られているサン・ジョルディのレリーフ．（2019 年 4 月 23 日著者撮影）

歴史的にも文化的に，そして政治的にも深く対立している二つの地域において，それぞれの文化ナショナリズムを表明する二つの祭りはなぜ結びついたのだろうか．

２．研究の目的とその意義

本研究の目的は，本の日とサン・ジョルディの日という 2 つの祭りの「接続」について，その歴史的経緯を明らかにすることにある．ここでいう「接続」とは，サン・ジョルディの日が，その祭のなかで，本という要素を取りこむことを意味する．つまり，サン・ジョルディの日が，本の日から「本」という要素を，いつごろどのように取り込んでいったのかが問いとなる．

もちろん「接続」が生じたのは，1931 年以降に両祭りの日が重なったからに他ならない．しかし，カスティーリャとカタルーニャの両地方の対立的な歴史的経緯と，2 つの祭日の持つそれぞれの文化ナショナリズム的性格を考慮すると，日が重なったことは，「接続」するための必要条件ではあっても，「接続」を説明する理由としては不十分である．

本研究によって，対立する 2 つの文化ナショナリズムの共存・共犯関係を明らかにすることができれば，スペイン政府（カスティーリャ地方）とカタルーニャ地方という対立一辺倒で描かれがちな従来のスペイン史認識[3]に対して，再検討を迫ることにつながる．この点に，本研究の意義がある．

３．先行研究とその問題点

前章で指摘した「接続」の問題に関する先行研究を整理すると，次の通りとなる．

まず，カタルーニャにおけるサン・ジョルディの日の歴史を研究する Soler i Amigo（2000）によると，「本の日はカタルーニャにすぐに根付き，カタルーニャ語の出版と商業化の進展に寄与するものであった[4]」とし，2 つの祭りの「接続」の経緯については，あまり注意が払われていない．時期としては 1931 年以降すぐであったこと，また，出版文化史上の意義が指摘されるのみである．

次に本の日の研究の文脈（Cendan Pazos. 1989 等）では，4 月 23 日のカタルーニャ自治政府前でのバラの市場と市街での本の販売という 2 つの祭りの表現によって，2 つの祭りが結びついたと指摘されている[5]．つまり，祭典の空間的近接性という観点から 2 つの祭りの「接続」が説明されている．しかし，その空間的な位置関係やどのような本が売られていたのかについては，まとまった史料がないからか，深い検証はなされていない．

出版史・読書史（Martínez Rus 等[6]）をひも解いてみても，出版・書店界の本の日に関する議論に終始し，サン・ジョルディの日自体は積極的には取り上げられてはいないのが現状である．

まとめると，先行研究では総じて「接続」に対する研究関心が薄いのだが[7]，2 つの祭りが「接続」したのは，本の日が 4 月 23 日に変更されて間もない，スペイン第二共和政期（1931-1936 年）だとされている．しかし，①主催者としての Cámara Oficial del Libro（図書商業組合）やカタルーニャ自治政府あるいはバルセロナ市当局は「接続」に対してどのような姿勢であったのか，②参加者としての書店や出版社がどのような本を販売していたのか，③本の日とサン・ジョルディの日のそれぞれの祭典空間はどのような位置関係にあり，それは歴史的にどのような変化があったのか，④本の日とサン・ジョルディの日はどのように報道され，そこにどのような「接続」に対する認識を読み取れるのか，といった「接続」の実態解明に関する諸課題が依然として残されていると言えるだろう．

４．分析の対象および方法

本報告では，前章で指摘した課題のうち，特に④の課題について検証する．なお，残る①～③の課題については，別の機会に改めて論じる．

 ©2019 Information Processing Society of Japan

表１：分析対象新聞史料一覧

項番	タイトル	傾向	平均購読者数	抽出記事数	備考
1	Diario de Barcelona	王党派	25,000	116	
2	El Diluvio	共和派（連邦主義）	60,000	154	
3	La Humanitat	ナショナリスト左派（ERC）	50,000	179	*1931年11月創刊のため、1931年の祭りは分析できない
4	La Vanguardia	保守派	200,000	154	
5	La Vue de Catalunya	ナショナリスト（リーガ）	25,000	443	

④の課題の分析は，第二共和政期の新聞記事を対象に，記事中に出現するサン・ジョルディの日に関する言葉と本の日に関する言葉が，結びついていたのかどうかを，テキストマイニングソフトウェアの KH Coder[8]を利用して検証する．それをもって 2 つの祭りが「接続」したのかどうかを考察していく．

分析対象の史料は，第二共和政期の新聞研究の成果（Checa Godoy, 2011）[9]をもとに，いずれもカタルーニャに本拠地を置く，当時発行部数の多かった日刊紙 5 紙を選択した（表 1）[10][11][12][13][14].

表 1 の各紙において，1931 年から 1936 年までの各年における 4 月 21 日から 25 日までの 5 日間の記事のなかから，サン・ジョルディの日と本の日に関わる記事それぞれを目視で確認しながら抽出した．この結果，1,046 本の記事データセットを得ることができた．

KH Coder での分析の前に，表 1 の項番 2，3，5 の新聞記事については，もともとのカタルーニャ語をカスティーリャ語に Google 翻訳で機械翻訳した．これは，KH Coder で同一言語として 5 紙をまとめて分析するための措置である．

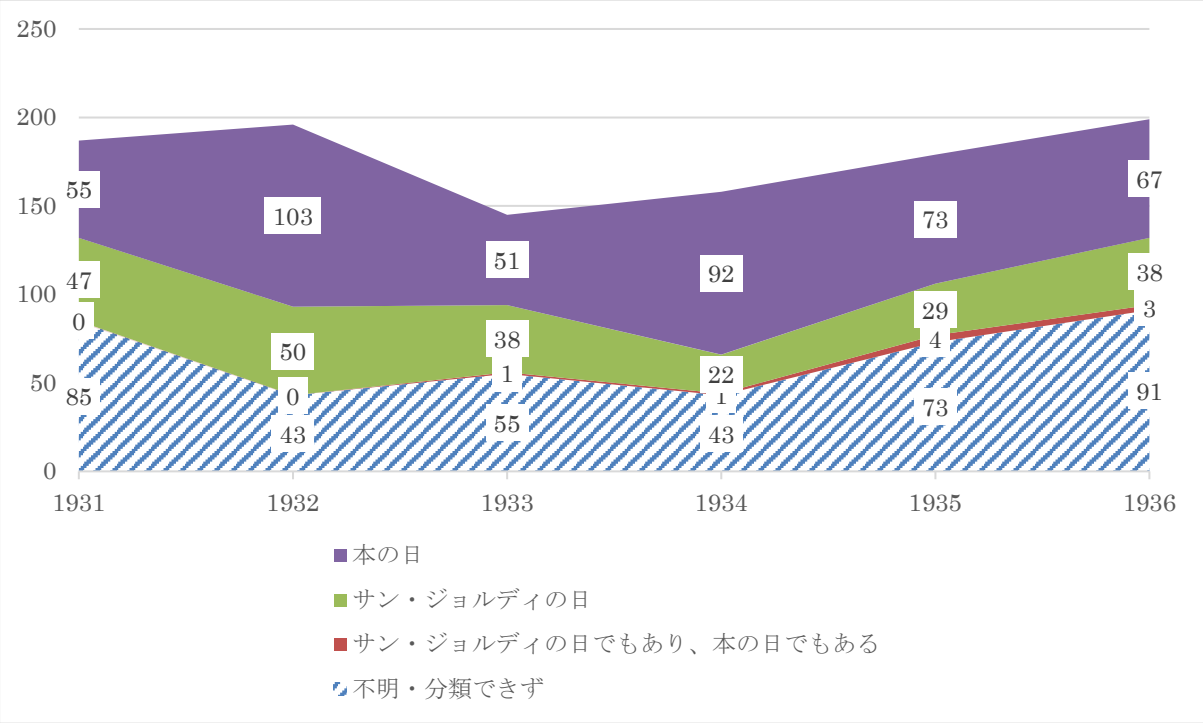

図３：各年における記事のテーマ別分類

 ©2019 Information Processing Society of Japan

5．分析結果

本章では 5 紙のテキストマイニングの分析結果をまとめる．まずは，史料となる新聞記事データセットの全体の特徴から見ていきたい．

図 3 は，表 1 にあげた各新聞史料の抽出記事を，そのタイトルから「本の日」に関するものか，「サン・ジョルディの日」に関するものか，「サン・ジョルディの日でもあり，本の日でもある」ものか，あるいは「タイトルがないあるいはタイトルだけでは分類できないか」の 4 つに分け，年ごとにグラフ化したものである．タイトルから 2 つの祭りを扱っていると判断できる記事は 1933 年以降に登場し，徐々に増える傾向にあるが，その数は圧倒的に少ない．記事テーマは，調査対象年代すべてを通じて，本の日に関する記事がサン・ジョルディの日よりも多い．また，1933 年に記事総数の谷があり，その後，両祭りの記事の増加が認められる．

対象年代の記事全体における，記事中の出現数の多い語彙について，出現パターンの似通った語彙ほど近くに付置される自己組織化マップを作成した（図 4）．

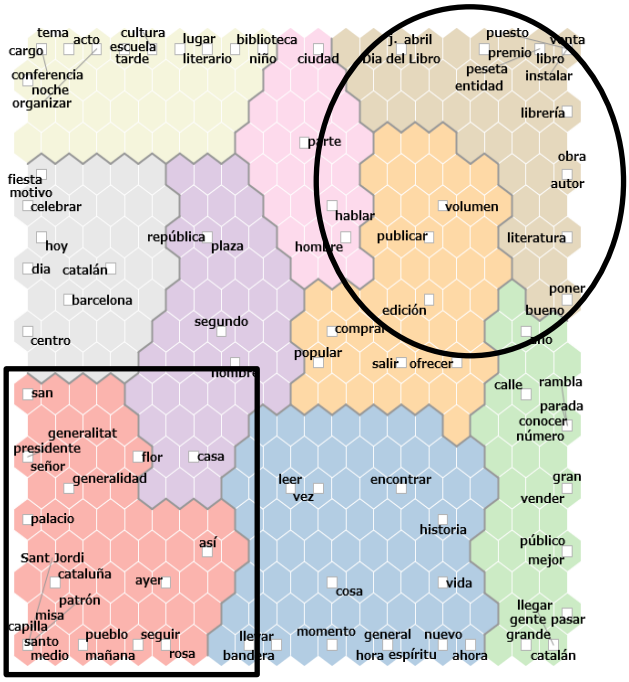

図 4：出現数の多い上位 100 語を用いた自己組織化マップ
四角で囲んだ箇所がサン・ジョルディの日に関する語のクラスタであり，丸で囲んだ箇所が本の日に関する語のクラスタと考えられる．

図 4 の左下にサン・ジョルディの日に関する語彙が，右上に本の日に関する語彙が集まっており，2 つの祭りに関する語彙が似通っていないということがわかる．また，同じデータについて，共起の強い語を図示した共起ネットワークで表すと，図 5 の通りとなる．これを見ると，本（Libro）とサン・ジョルディ（Sant Jordi）という 2 つの語の間には，共起関係がないことがわかる．

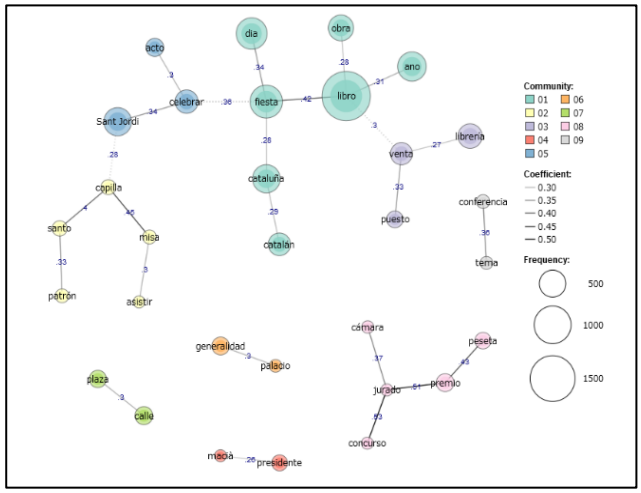

図 5：上位 40 語での共起ネットワーク図
集計単位は 1 記事単位とし，上位 40 の共起関係を表示した．共起関係の数値はジャッカード係数である．

次に，サン・ジョルディの日に関する記事本文に，本の日に関する話題が含まれているかどうかについて検討を行った．具体的には，図 3 で得られたサン・ジョルディの日に関する 224 件の記事に，図 4 で得られた本の日に関するクラスタの語彙のうち，明確に本の日に関する語彙と判断できる「本（libro）」，「書店（librería）」，「文学（literatura）」，「作家（autor）」と，これに「セルバンテス（Cervantes）」を加えた 5 つの語彙のいずれかが登場する記事数とその割合を調べた．その結果が，図 6 である．なお，図 3 で「サン・ジョルディの日でもあり，本の日でもある」と判断した 9 件は，この中にすべて含まれている．

また，図 6 と同様に，本の日に関する記事本文中に，サン・ジョルディの日に関する語彙が出現する記事数の推移とその割合についても比較対象として調べた．なお，サン・ジョルディの日に関する語彙として，図 4 のクラスタの中から，次の 9 つの語彙（「カタルーニャ自治政府（generalitat）」，「花（flor）」，「カタルーニャ

 ©2019 Information Processing Society of Japan

自治政府（generalidad）」,「宮殿（palacio）」,「サン・ジョルディ（Sant Jordi）」,「守護聖人（patron）」,「尖塔（capilla）」,「聖なる（santo）」,「バラ（rosa）」を検索対象としている．その結果は，次の図 7 の通りである．

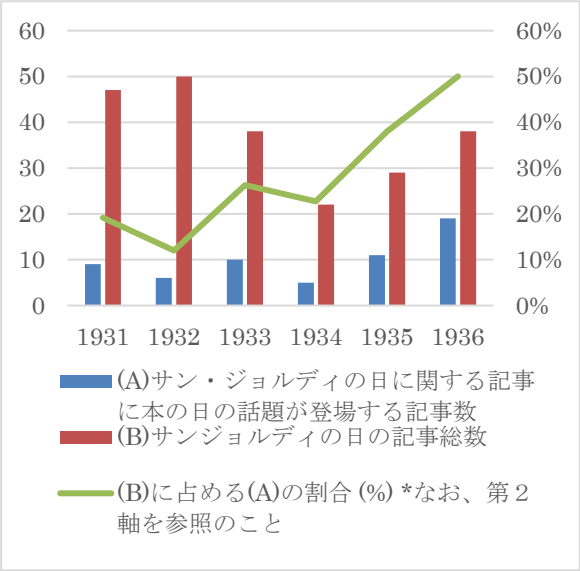

図 6：サン・ジョルディの日に関する記事に本の日に関する話題が登場する記事数の推移とその割合

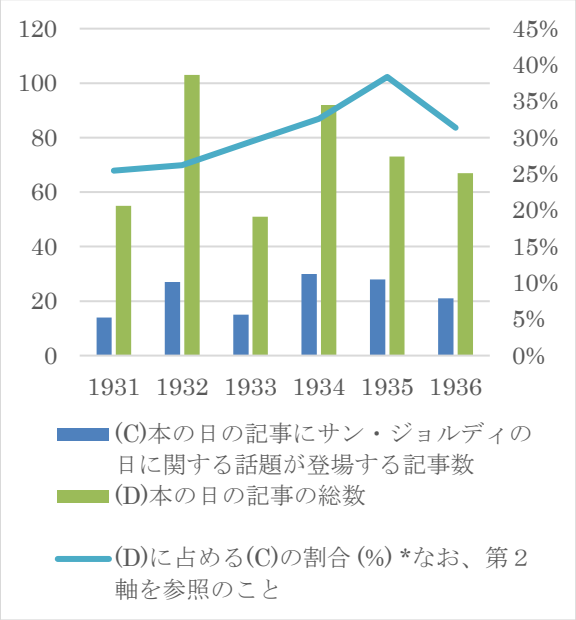

図 7：本の日に関する記事にサン・ジョルディの日に関する話題が登場する記事数の推移とその割合

６．考察

前章から得られた結果をもとに考察すると，次のようになる．

まず，図 3 からは，タイトルから判断して，本の日とサン・ジョルディの日の両方をテーマにしているものが，第二共和政期では一貫して少数であったことがわかる．その意味では，2 つの祭りは別々に記述されるものであった．

ただし，本の日かサン・ジョルディの日か，タイトルだけでは分類できない記事も相当数あることから，本の日に関する記事が多い結果は得られたものの，これだけで本の日とサン・ジョルディの日の記事の多寡を判断することは困難と言える．

次に，図 4 と 5 からは，本の日に関する語彙とサン・ジョルディの日に関する語彙に，関連性と，共起関係がないことが確認できた．この点から，第二共和政期の新聞報道においては，本の日とサン・ジョルディの日は，「接続」していなかったと結論付けることができる．

しかし，図 6 からは，サン・ジョルディの日の記事中に，本の日に関する話題が登場する記事の割合が，年を経るごとに増す傾向にあり，1936 年には半数を占めるに至っていることが示されている．一方で，図 7 からは，本の日に関する記事に，サン・ジョルディの日に関する話題が登場する割合は大きな変化はなく，1936 年は 30%ほどにむしろ減少している．これらのことから，第二共和政期においては，サン・ジョルディの日と本の日の記事は，それぞれの話題は分けられて記述されていたものの，サン・ジョルディの日の記事に本の日の話題が次第に取り込まれていく傾向にあったことがうかがえるだろう．

７．おわりに

本稿では，スペイン第二共和政期のカタルーニャにおける大手新聞記事 5 紙を対象に，テキストマイニングソフトウェアの KH Coder を用いて，本の日とサン・ジョルディの日という 2 つの祭りの語の「接続」について検討を行った．この結果，2 つの祭りは「接続」していなかったが，その後の「接続」に向けた傾向を読み取ることができた．

しかし，タイトルだけでは分類できない記事数も多く，それをベースにサン・ジョルディの日の記事が本の日の話題を取り込んでいったと判断を下すのは早計である．

今後は，新聞記事データセットの詳細な検証とともに，残された①～③の課題に答えることで，当時の 2 つの祭りの「接続」を，精緻にかつ複合的に検証することとしたい．

８．謝辞

本研究は，JSPS 科研費 JP19K20638 の助成，及び，2019 年度関西大学若手研究者育成経費（研

 ©2019 Information Processing Society of Japan

究課題「スペインにおける『本の日』と『サン・ジョルディの日』デジタルアーカイブ構築を通じた文化ナショナリズムの研究」）の助成を受けた成果の一部である．

参考文献

[1]例えば，以下の記事がある．
カタルーニャ独立派幹部に長期禁錮刑 バルセロナで抗議デモ. AFP.
https://www.afpbb.com/articles/-/3249478,
（参照 2019-10-25）.
[2]Gaceta de Madrid. 1926-02-09, no. 409, pp.707-708.
[3] 立石博高. 中塚次郎編. スペインにおける国家と地域: ナショナリズムの相克. 国際書院. 2002.
[4] Joan Soler i Amigo. Sant Jordi: la diada, la tradicióm l'actualitat. Barcelona, 2000, p.11.
[5] Cendan Pazos, Fernando. La Fiesta del Libro en España. Mardid. 1989.
[6] Martinez Rus, Ana. La Politica del Libro durante la Segunda Republica: socializacion de la lectura.Gijon. 2003.
Martinez Rus, Ana. La politica editorial durante la Segunda Republica: las Ferias del Libro. Murga Castro, Idoia, y Lopez Sanchez, Jose Maria. Ed., Politica cultural de la Segunda Republica. Madrid. 2016. pp.147-170.
[7] Ainaud de Lasarte, J.M. Los Cincuenta Años del Día del Libro. Barcelona, 1976.
[8] 樋口耕一. KH Coder, https://khcoder.net/, (参照 2019-10-25)
[9] Checa Godoy, Antonio. Prensa y Partidos Políticos durante la II República. Sevilla, 2011.
[10] Diario de Barcelona. Barcelona, 1931-1936.
[11] El Diluvio, Barcelona, 1931-1936.
[12] La Humanitat, Barcelona, 1932-1936.
[13] La Vanguardia. Barcelona, 1931-1936.
[14] La Vue de Catalunya, Barcelona, 1931-1936.

 ©2019 Information Processing Society of Japan